

科目コード	記号	科 目 名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
2005	ESBG05	政治・経済:Political Science and Economics	2ESB	2・90分	必修	講義・通年	履修単位
教 員 名		佐賀 隆公:SAGA Takakimi					
授 業 概 要							
	前期では、政治、法に関する事柄について学習する。近代市民社会の基本原理解である民主主義と人権思想、現代の政治制度、日本国憲法やわが国の政治機構、国際政治、国際連合について学習する。後期では、経済について学習する。資本主義経済の特質と諸課題、財政と金融の働き、国際経済のしくみや国際経済機関について学習する。						
到 達 目 標				評 価 方 法			
①現代の政治や経済に関する基礎的な事項が理解できる。 ②メディアで出会う政治・経済問題の概略が理解できる。 ③民主主義社会の一員としての考え方ができる。				①中間試験40% ②期末試験40% ③レポート20%			
学習・教育目標		F		JABEE基準1(1)			
前 期				後 期			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	民主政治の特 質	政治権力と民主主義、人民主権と権力分 立	第16	資本主義体制 と社会主義経 済	資本主義経済と社会主義経済の成立と変 容	
	第2	法の支配と人 権の確立	基本的人権の確立、人権の歴史的展開、 人権の国際化	第17	資本主義経済 と企業 三 つの経済主体	現代の企業、家計・企業・政府の活動	
	第3	民主政治のしく み、世界の主な 政治体制 I	議会制民主主義、政党政治、議院内閣制	第18	市場経済の機 能と限界	市場メカニズム、市場の失敗、寡占・独占	
	第4	世界の主な政 治体制 II	大統領制、社会主義体制、民主化の波	第19	国民所得と経 済成長	国民所得、経済成長、景気変動	
	第5	日本国憲法の 制定と基本原 理	明治憲法の基本原理、日本国憲法の成 立と基本原理、最高法規	第20	資金の循環と 金融	通貨、金融市場、金融政策、金融の自由 化	
	第6	基本的人権の 保障	自由権と社会権、新しい人権	第21	租税と財政	財政、租税と公債、財政政策、財政改革	
	第7	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を行う	第22	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を行う	
	第8	平和主義	自衛隊、日米安保条約、国際協調	第23	日本経済の発 展	経済の民主化、高度経済成長、バブル経 済とその崩壊	
	第9	日本の政治機 構 I	立法一国会の構成と運営 行政一内閣と国	第24	貿易と国際収 支	国際分業、自由貿易、外国為替、国際収 支、為替レート	
	第10	日本の政治機 構 II	司法権の独立、裁判制度、 地方自治の本旨、地方自治の現状と課題	第25	経済対立と国 際協調 I	IMF・GATT体制、国際通貨体制の変容、 南北問題、GATTからWTOへ	
	第11	選挙と政治意 識	選挙制度、選挙の諸問題	第26	経済対立と国 際協調 II	国際資本移動、地域主義の動き、FTAの 動き	
	第12	国際社会の組 織化	国際連盟、国際連合の組織、国際連合と 平和維持	第27	大きな政府と 小さな政府	政府の果たすべき役割、政府の適切な規 模	
	第13	国際政治の動 向	冷戦体制、平和共存と多極化、新秩序	第28	地方分権をど う進めるか	国と地方公共団体の役割分担	
	第14	国際政治の課 題	核抑止と軍拡競争、冷戦後の軍縮への課 題	第29	雇用環境の変 化にどう対応 するか	労働基本権、労働をとりまく課題	
	第15	まとめ	前期のまとめとしての試験と復習を行う	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめとしての試験を行う また、授業評価のアンケートを行う	
関連科目		現代社会					
教 科 書		佐々木 毅 他著『政治・経済』(東京書籍)					
参 考 書							
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う					
副担当教員		山下 祐志					
備 考							